

用語の説明

本文中の太文字の説明です。

【センシユアス・シティ】…LIFULL HOME'S総研が提案した、効率性や経済指標ではなく、五感で感じる「街の心地よさ」や「魅力」を数値化した新しい都市評価指標。

【パークPFI】…「公募設置管理制度」の通称で、都市公園の魅力と利便性の向上のため、公園の整備を行う民間の事業者

を公募し選定する制度のこと。

【アピランスケア】…病気の治療に伴う脱毛、皮膚の変化、手術跡などの外見の変化による身体的・心理的・社会的な苦痛をウィッグ、帽子、メイクなどで軽減し、自分らしく生活できるように支える包括的なケアのこと。

【用水堰】…農業用水・工業用水・水道用水などの水を川からとるために河川を横断して水位を制御する施設。

【帯工】…川底の砂などが急な流れで削り取られないようコンクリートなどで帯状に設置する固定ブロックのこと。

【東京アプリ】…東京アプリの詳細内容はQRコードを読み取ってご覧ください。



※茶色く太字になっている用語については10面で詳しく説明しています。

長峰地区の安全対策について



つじ 議員

問 長峰地区は、「星の見えるまち」をコンセプトとしているが、住民からは、防犯・安全対策として、景観を考慮した街路灯の照度アップを望む声が寄せられている。LED化により、以前と比較して明るくなったが、住民の高齢化に伴い、夜間のさらなる安全性を確保する必要があると考える。足元照明の照度を上げることにより、より明るさを確保することについては、

どの声が寄せられている。反射板の設置を以前提案し、設置していただいた経緯もあるが、経年劣化などにより、取れている。再度の反射板の設置については、市においても現場を確認するが、申し入れただけでは、貼り直す作業を実施していく。

問 現行の足元照明は、LED交換の際に最大照度となるように交換しており、これ以上、器具を変えずに照度を上げることができないと考えている。

問 市に申し入れただけでは、現場を確認し、設置が可能な箇所には順次対応していきたいと考えている。

だれもが楽しめる公園づくりにについて



川村 議員

問 大阪府茨木市に「おにクル」という、市民の意見を取り入れながら、様々な施設などが併設された多機能な交流拠点の複合施設がある。同市の伐採木を活用した遊具で木育体験もでき、森林環境譲与税を使用して造られている一例である。公園整備に国の森林環境譲与税を使用する事については、

問 本税の全額をナラ枯れ対策と里山管理のボランティアであるいなぎ里山レンジャーの育成に活用し、ナラ枯れ被害樹木の伐採処理と市民との協働による森林管理に努めている。今後、新たな活用方法については、先進事例などを研究していく。

問 先日、よみうりランド内にポケパークカウンターがオープン

した。また、全国各地にある「ポケモン公園」は、ポケモンローカルActsという会社が地方自治体と協力し公園を造っている。ポケモンの魅力を発信することで、足を運び同時に地域の魅力も感じてもらうことを目指しているとのこと。各都道府県がアプローチし、実現している公園も多いため、市から都へ提案する事を進めてほしいと考えるが、民間との連携について、市の考え方は、

アピランスケアの拡充と、見た目に寄り添った行政対応について



土居 議員

問 市では、がん患者へのアピランスケア支援が検討されているが、外見の悩みはがん治療の副作用に限定されるものではなく、自己免疫疾患なども含めた包括的な支援が必要である。誰もが自分らしく暮らせる市を目指し、病気などによる外見の変化に苦しむ市民一人一人に寄り添う支援について問う。アピランスケア支援の検討状況は、

問 マインナーカードなどの申請時や外見の変化に課題を抱える生徒への配慮の現状は、

問 周辺市の支援事業の内容を把握し、支援事業に必要な事項の情報収集を行っている。

問 この工事を含め、多摩川緊急治水対策プロジェクトに対する市の対応について市長の考えは、

問 アピランスケアの助成を実施する際は対象範囲について

問 当該プロジェクトに委員として参加し、多摩川整備促進協議会を通じ、国に対し、多摩川の治水安全度向上を図る事業の推進などを求めてきた。今回、市の費用負担がなく、大丸用水堰の改築工事など積極的な治水対策が図られ、非常に大きな成果を得た。今後も引き続き、国へ要望していくとともに、より一層の防災・減災対策に取り組んでいく。

大丸用水堰改築工事について



北浜 議員

問 大丸用水堰改築工事の具体的な概要については、

問 国が市町村に行っている5歳児健康診査の導入支援の内容は、

問 令和元年の東日本台風と同規模の降雨による河川増水が発生した場合でも、安全に流下させることを目的に令和3年度より、流下能力の向上を図るなどの工事が行われてきた。主な内容として、既設の用水堰を撤去し、新たに床止めを設置する工事、多摩川の流れを活用し、新しい取水施設に自然流入させる仕組みを構築するための帯工を設置する工事、新たな取水施設と堤外水路を設置し、既存の大丸用水路に導水する工事である。

問 健康診査実施時の必要な経費に対する財政的支援として、母子保健医療対策総合支援事業補助金による補助を行っている。また、技術的支援として、既に5歳児健康診査を実施している自治体の状況や専門医師の知見、研究成果を踏まえて、健康診査の実施および判断に活用できる5歳児健康診査マニュアルの発行や知識普及のための研修などを行っている。

問 水質低減対策として河道断面を確保する工事が行われたことにより、市民生活における安

問 5歳児健康診査は、保護者が子供の発達の問題を認識するよい機会と考えるが、認識は、

保育所等の職員による虐待に関する通報義務について



村上 議員

問 市内で改正児童福祉法の対象となる施設の種類と施設数は、

問 対応のうち、安全保護措置、子どもに対するケアは、

問 当該施設事業者への改善の指示を適切に行っていく。また、対象となった子供のみなならず、その他の保育所などを利用する子供も含めて、十分な心のケアを行う必要があると認識している。

5歳児健康診査の導入について



湯谷 議員

問 健康診査実施時の必要な経費に対する財政的支援として、母子保健医療対策総合支援事業補助金による補助を行っている。また、技術的支援として、既に5歳児健康診査を実施している自治体の状況や専門医師の知見、研究成果を踏まえて、健康診査の実施および判断に活用できる5歳児健康診査マニュアルの発行や知識普及のための研修などを行っている。

問 5歳児健康診査は、保護者が子供の発達の問題を認識するよい機会と考えるが、認識は、

問 市における5歳児健康診査導入の考え方については、

問 5歳児健康診査は、保護者が子供の発達の問題を認識するよい機会と考えるが、認識は、

問 5歳児健康診査は、保護者が子供の発達の問題を認識するよい機会と考えるが、認識は、